

1	開催日時	5 月 25 日(水)		13:10 ~ 13:40	6		
2	開催場所	Tea&Sip 開催				産	
3	委員	委員長	■ 佐藤委員長			業	
		産業医	■ 成松産業医			医	
		衛生管理者	■ 森本委員			意	
		使用者代表	■ 成松産業医 ■ 森本委員 ■ 久木野委員 ■ 高橋保健師(オブザーバー)			見	
		労働者代表	■ 桶田委員 ■ 山崎委員 ■ 名越委員			他	
4	安全衛生関係	(1) 労災・交災状況 (福岡オフィス)		(2) 時間外状況		7	<p>対象数 104 人 ※パート除く</p> <p>その他の報告</p> <p>労働災害「0」、通勤災害「0」、残業時間+休日労働時間は「65時間」であった。</p> <p>時間外最高時間の部署についてですが、残業時間は設備技術部の方です。休日労働の最高時間は水処理課の方でシフト勤務のため平日に公休を取得しております。</p> <p>残業+休日労働の最高時間の方は設備技術部の方で残業時間が最高の方と同じです。</p> <p>定常作業に加えて定修準備のため労働時間が増えております。体調面で心配なことはない事を確認しております。</p> <p>5月から7月は動力課定修のためプラント課員及び設備技術部担当者の時間外及び休日労働が増える可能性があります。設備技術部に於いては紙からデジタルへ新たな取組実施中。</p> <p>残業+休日労働の30時間以上の職場が多く設備技術部2名、品質保証部ディスプレイ材料1名動力課1名であり全体の時間は先月より少なくなった。</p>
5	● 実績 ○ 予定					8	<p>今年は3年ぶりに行動制限のないゴールデンウィークでした。黒崎祇園も開催される予定であり少しづつですが制限が緩和されつつあります。しかしながら感染者や濃厚接触者は高止まりの状態が続いているので引き続き感染予防対策をお願いします。</p>
活	① 労災・交災状況確認の実施(上記4参照)					委員長挨拶	
動	② 時間外状況確認の実施(上記4参照)						
状						次回	2022年6月22日(水) 13:10~13:40
況						場所	要調整

佐藤委員長 

成松産業医 

森本委員 

久木野委員 

桶田委員 

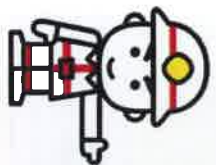
山崎委員 

名越委員 

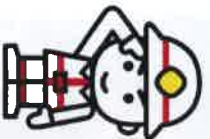
前年比較（残業+休日労働時間数）



熱中症を予防して元気な夏を！



夏に向けて、熱中症になる人が増えてきます。
熱中症を知って、しっかり予防し、楽しい夏を過ごしましょう！



このリーフレットでは、熱中症の症状や応急手当を紹介しています。



救急車を呼んで、一刻も早く病院へ行く必要のある状態や、症状についても紹介しています。当てはまる場合は、急いで119番しましょう。

※消防庁が作成した全国版救急受診アプリ「Q助」や「救急車利用リーフレット」も合わせてご覧ください。
(下記のQRコードをスマートフォンなどで読み取ることで、簡単に接続できます)



Q助サイト



救急車利用リーフレット



消防庁

FDMA
住民とともに

<https://www.fdma.go.jp/>

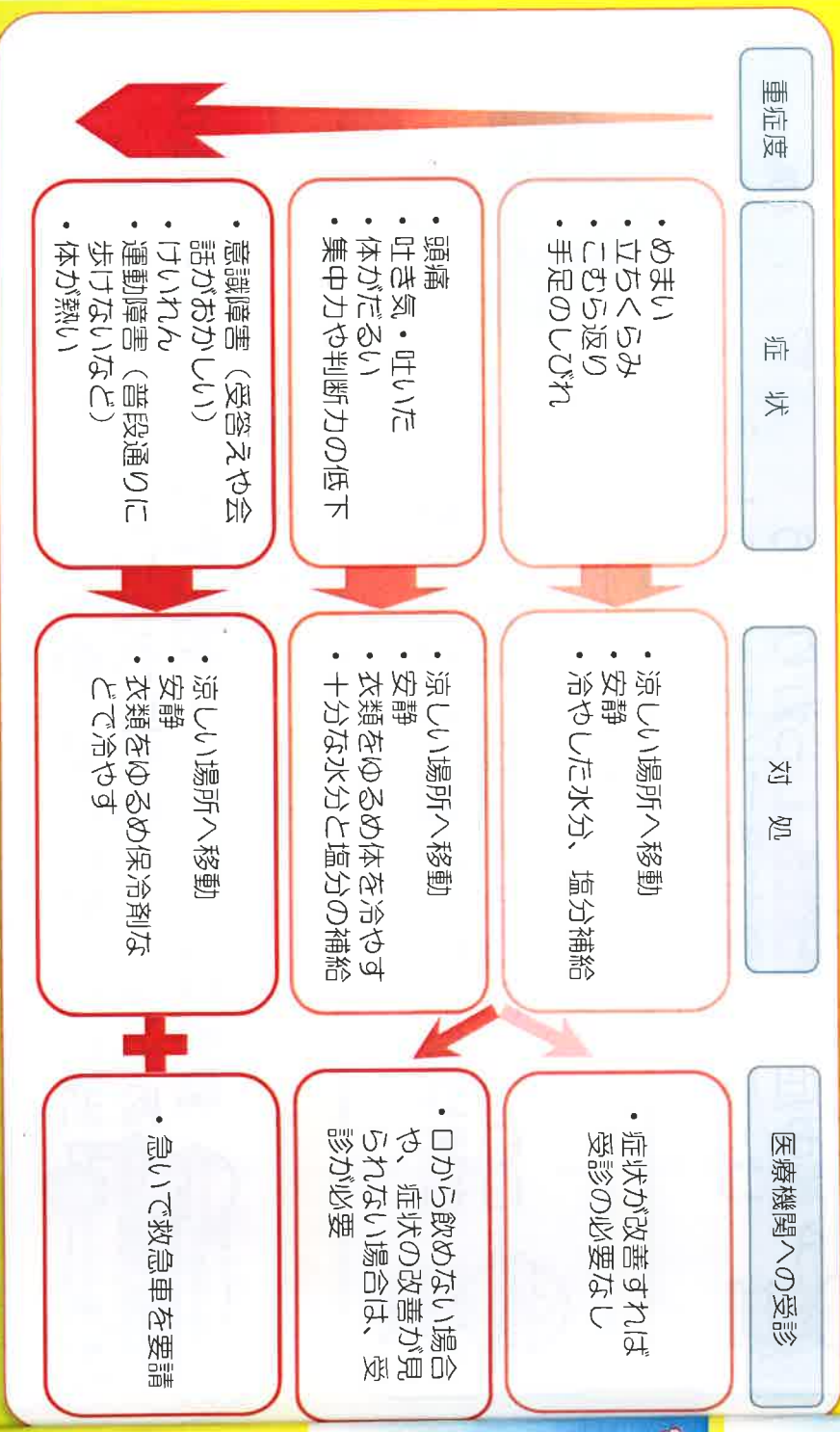


熱中症とは？

湿度や温度が高い中で、体内の水分や塩分（ナトリウムなど）のバランスが崩れ、体温の調節機能が働かなくなり、体温上昇、めまい、体のだるさ、ひどいときには、けいれんや意識の異常など、様々な障害をおこす症状のことです。

家の中でじっとしていても室温や湿度が高いために、体から熱が逃げにくく熱中症になる場合がありますので、注意が必要です。

熱中症の分類と対処方法



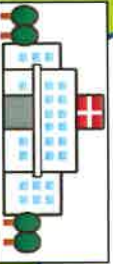
熱中症の応急手当

- 涼しい場所や日陰のある場所へ移動し、衣服を緩め、安静に寝かせる
- エアコンをつける、扇風機・うちわなどで風をあて、体を冷やす

首の周り・脇の下・太もものつけねなど太い血管の部分冷やす

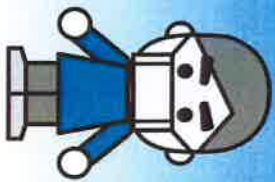


持病をお持ちの方やお子さんは、かかりつけの医師とあらかじめ相談し、熱中症対策についてアドバイスをもらっておきましょう

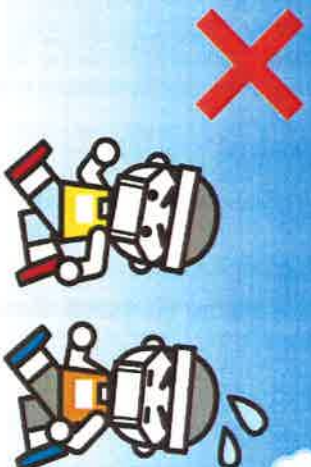


「新しい生活様式」にも対応した熱中症予防について

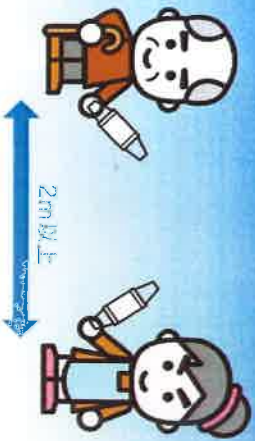
マスク着用時は
中症に注意しよう！



激しい運動は避けよう

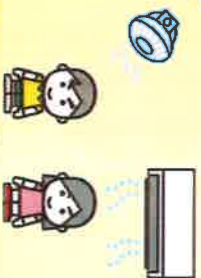


ウイルス感染対策は忘れずに
外で人と十分な距離(2m以上)
ある場合はマスクを外そう！



熱中症警戒アラート発令中

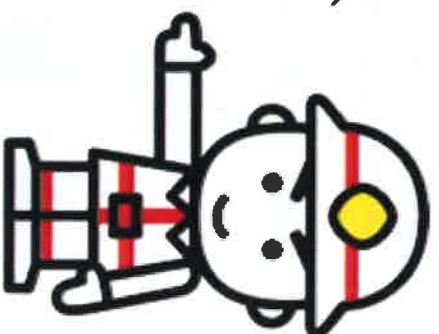
外出をできるだけ控え
暑さを避けよう！



熱中症警戒アラートとは：暑さへの「気づき」を呼びかけるための情報
熱中症の危険性が極めて高い暑熱環境が予測される際に表示し
国民の熱中症予防行動を効果的に促す

熱中症は正しい知識を身につけることで、
適切に予防することが可能です。

また「新しい生活様式」における
熱中症予防行動のポイントとして、
以下の項目に心がけてください。



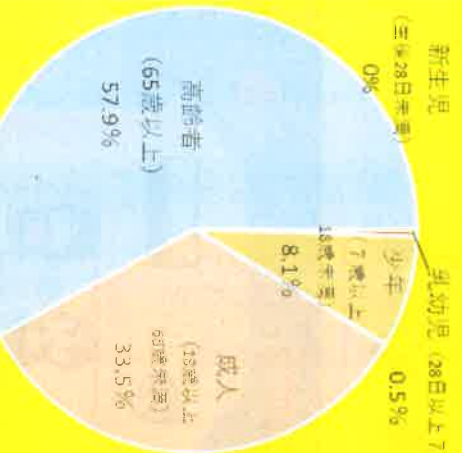
- 屋外で人と2m以上離れている時はマスクをはずしましょう。
(ウイルス感染対策は忘れずに)
- 涼しい服装、日傘や帽子で暑さを避けましょう。
- のどが渇いていなくてもこまめに水分補給をしましょう。
- 部屋の温度に注意し、エアコンや扇風機を上手に使いましょう。
- また、こまめに換気をしましょう。
- 熱中症警戒アラート発令中は外出をできるだけ控え暑さを避けましょう。

- ・熱中症による救急搬送人員の年齢区分別では、高齢者が半数以上を占めています。また、傷病程度別では、全体の約4割の方は入院（重症・中等症）が必要でした。
 - ・発生場所別では、住居（敷地内全ての場所を含む）での発生が4割を占めています。
- ※仕事場①：道路工事現場、工場、作業所等 仕事場②：田畑・森林、海・川等（農・畜・水産作業を行っている場合のみ）
 公衆（屋内）：不特定者が出入りする場所の屋内部分 公衆（屋外）：不特定者が出入りする場所の屋外部分

熱中症による救急搬送人員の内訳（令和2年） ※6～9月の調査集計

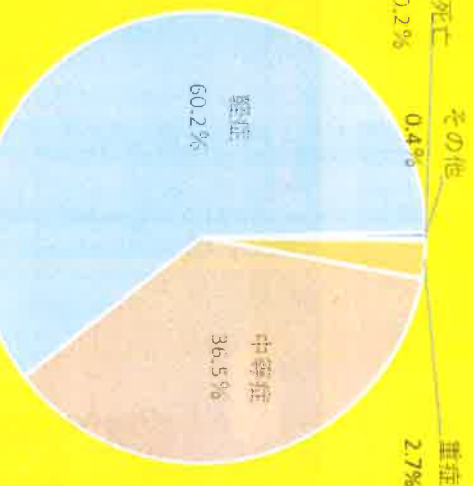
【年齢区分別】

高齢者が半数以上を占めています。



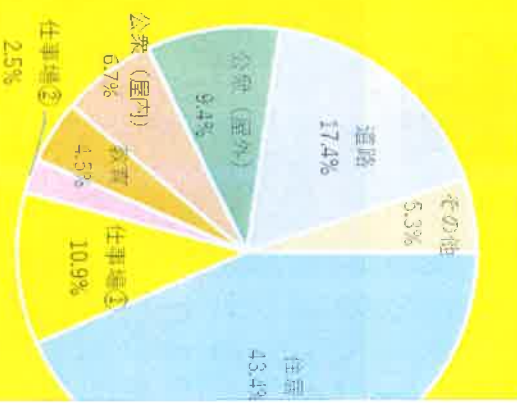
【初診時における傷病程度別】

全体の約4割の方は入院（重症・中等症）が必要でした。



【発生場所別】

住居（敷地内全てを含む）で発生が4割を占めています。



（注）端数処理（四捨五入）のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。

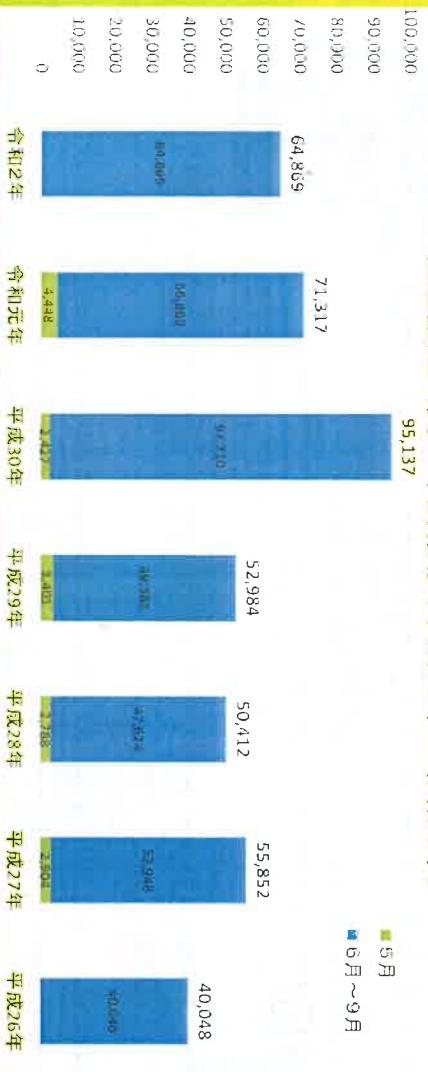
熱中症により、毎年約4万人以上の方が救急搬送されています。平成30年は約9万5,000人の方が搬送され、平成20年の調査以来過去最多を記録しました。熱中症による救急搬送人員の増加の要因として、気温や湿度等の上昇が関係していることがかかっています。特に、梅雨明け前後の暑さには、最も注意が必要です！！

熱中症による救急搬送人員（平成26年～令和2年）

救急搬送人員合計 430,619人

※5～9月の調査集計（H26年・R2年は5月集計なし）

救急搬送人員の年別推移（平成26年～令和2年）



◆消防庁では「夏期における熱中症による救急搬送人員の調査」の速報を週ごとに公表しています。

URL： https://www.fdma.go.jp/neuter/topics/fieldlist9_2.html

参考：環境省「熱中症環境保健マニュアル」

http://www.wbgetenv.go.jp/heatstroke_manual.php

消防庁

FDMA

<https://www.fdma.go.jp/>

